

令和4年12月定例会の概要

令和4年12月定例会は、令和4年11月30日に開会し、令和4年12月15日に閉会しました。令和4年12月定例会で可決した令和4年12月補正予算、会派所属議員が行った市政一般質問を中心にご報告いたします。

令和4年12月補正予算の主な内容

■ 子育て世代を応援！3万円を給付 13億4,362万円

ベビーファースト運動推進のため、本市独自の応援策として、子育て世帯に対し、市内在住の0～15歳までの子どもを対象に給付金（1人3万円）を支給します。



■ 郡山市ベビーファースト給付金事業 3億3,642万円

令和5年1月から、国が創設した出産・子育て応援給付金を活用した「郡山市ベビーファースト給付金事業」を開始します。

郡山市ベビーファースト給付金事業の概要

- ①「伴走型相談支援」……妊産婦等に対し、妊娠時から出産後にかけて計3回の面談
- ②「出産・子育て応援ギフト」……経済的支援
妊娠届出時に50,000円相当、出生届出時に50,000円相当
(出産育児関連用品の購入費助成、サービス等の利用負担軽減等)

【助成の方法】…現金給付 妊娠・出産で経済的に負担の大きい妊婦及び子の養育者に対し、必要な時期に、できるだけ速やかな支援を図る。

【対象者】…令和4年4月1日以降に、妊娠、出産した妊婦及び子の養育者
 ・令和4年4月～12月に出産 10万円 1,800人
 ・令和4年4月～12月に妊娠 5万円 1,800人
 ・令和5年1月～3月に妊娠又は出産 5万円 1,200人

■ 3学期の学校給食を全額公費負担 1億9,166万円

令和4年度3学期の学校給食を全額公費負担とし、子育て世代の支援を一層強化します。



令和4年12月定例会初日、議会提案条例である「郡山市産米の消費拡大の推進に関する条例」を可決しました。志翔会では、郡山市産米の消費拡大に向けて、市当局、関連団体等と連携しながら所属議員全員が一丸となって邁進して参ります。

■ ごみの戸別収集により要援護者をサポート 8,000万円

自らごみ集積所に出すことが困難で、かつ親族等からの協力が得られない方(要援護者)に対し、ごみを個別に収集し、負担の軽減を図ります。

■対象となる方

- ・要介護1から5の方
- ・身体障害者手帳(視覚又は肢体不自由)1級・2級の方
- ・精神障害者保健福祉手帳1級の方
- ・その他特に必要性が認められる方

■収集方法

週1回、可燃・不燃ごみ、資源ごみを自宅前から収集し、クリーンセンターに運搬



■スケジュール



■ 身近な道路や側溝などの生活環境を改善 4億1,000万円

生活環境の利便性や安全性の向上を図るため、損傷のある道路舗装の補修や水路側溝の改修を推進します。



■ 保育施設等に対し送迎用バスへの安全装置等の導入を支援 4,156万円

子どもの安心・安全を確保するため、保育施設等に対し、送迎用バスの安全装置の導入支援等に要する費用を補助します。

志翔会 議員紹介

- ・期数
- ・地区
- ・連絡先
- ・市議会役職
- ・常任委員会



森合 秀行
(2期)

安積町
☎953-7885

広報担当・議会運営(副委員長)
総務財政(副委員長)・広聴広報(委員長)



塩田 義智
(4期)

三穂田町
☎945-2015

市議会議員



近内 利男
(4期)

緑ヶ丘
☎942-7967

副会長
建設水道(委員長)



久野 三男
(4期)

方八町
☎943-3200

副会長
市監査委員・環境経済



佐藤 政喜
(4期)

大槻町
☎951-2316

顧問(元議長)
議会運営・総務財政



大城 宏之
(5期)

安積町
☎945-6566

会長
議会運営・文教福祉



七海喜久雄
(5期)

中田町
☎922-9587

顧問(前議長)
環境経済



鈴木 祐治
(6期)

田村町
☎955-2172

顧問(元副議長)
文教福祉

12月定例会一般質問

概要

開成山公園の防災機能について

問 令和4年12月定例会には、開成山公園等Park-PFI事業の指定管理者の指定に関する議案が含まれている。今回のPark-PFI事業により、開成山公園の防災機能はどのように高まるのか。

森合 秀行



答 指定管理者の公募にあたり策定した指針においては、災害時に避難場所として利用できる芝生広場や園路の整備、マンホールトイレの設置等、防災機能の強化を条件の1つとした。また、候補者となった事業者からは、本市の条件に加え、炊き出しに必要な「かまどベンチ」、災害時の資材置き場等の活用が可能な「大屋根」のほか、防災自動販売機の設置など、防災機能の強化につながる提案がなされた。



指定管理者から示された開成山公園の提案概要
(本市ウェブサイトから)

防災行政無線の定時放送について

問 定時放送は、機器の動作確認を目的として、朝、昼、夕方の1日3回の放送を行っている。朝の定時放送については、新時代の幕開けを迎える市制100周年を契機に、曲の変更を検討すべきと考えるが、見解は。

答 「郡山市防災情報伝達システム」の1つの手段である防災行政無線は、重要な情報伝達手段であるが、現在は、スマホやテレビなどから災害情報の取得も可能になっていること、市民提案制度による意見もあることから、情報伝達の全体のあり方の中で検討する必要がある

と認識している。その中で、楽曲の変更についても、市民の意見も伺い、検討する。

保育施設等における送迎バスの安全対策について

問 本市の保育園や幼稚園等の市内児童施設の送迎バスの台数は。また、職員へのマニュアルの周知方法など、園児のいのちを守る体制はどのようにとられているのか。

近内 利男



答 送迎バスを保有する施設と台数は、認定子ども園が4施設12台、幼稚園が29施設74台、認可外施設が3施設5台と計36施設において91台保有している。園児のいのちを守る体制については、実地調査時に、子どもの出欠状況について保護者への速やかな確認や職員間における情報共有、運転手、添乗員等による児童の点呼、人数確認、降車後の社内の見回り等を2重または3重にチェックし、児童の安全対策を行っていることを確認した。さらに顔写真付きのバス座席表の作成、様々な状況を想定したリスクマネジメントについて指導を行うとともに、年長児に対して自動車学校でクラクションの鳴らし方を学ばせるなど、他施設の好事例5例程度の情報提供を行った。

楽都郡山としての個性ある取り組みについて (市制施行100周年記念事業に関連して)

問 100周年の記念事業の1つとして、楽都郡山としての個性ある取り組みが必要かと思う。音楽祭や演劇祭など芸術文化の溢れる取り組みを、一定期間、一定の施設で行う企画であり、実績のある団体や組織と実行委員会のような組織形態で行うことにより、民間活力を生かすこともできる。このような取り組みは全国各地で開催されており、楽都郡山を生かせる取り組みと思うが、見解は。



がくとくんバンド (本市ウェブサイトから)

答 100周年記念事業については、各団体や多くの学校において、これまで積み上げられてきた音楽文化芸術活動の足跡や100周年記念事業プロモーション委員会の意見を踏まえ、次の100年につながり、更に本市の自由な文化芸術活動を広く発信する記念事業となるよう、民間団体の方々の協奏により、事業を検討する。

土壌診断の実施について

問 肥料価格の高騰が続く中、農林水産省をはじめ、米主産地の各県が来年の水稻の施肥コストを抑える取り組みを促している。肥料価格の高騰対策の一つとして、市とJAが財政的支援を行い生産者と一体となり郡山全域で土壌診断を実施すべきと考えるが、見解は。

佐藤 政喜



答 土壌の物理性や栄養状態等については、実際にその農地を利用して農作物を栽培してこられた農業者自身が最も理解しているとともに、どのように対処するか判断されることと思うので、その主体性を尊重し、要望に対応したい。

本社機能を有した企業誘致について

問 郡山市は高速道路や新幹線等の交通の結節点であり、また見方によっては北関東といえる地理的優位性を活かし、積極的に本社機能を有した企業の誘致を進めるべきと考えるが、このような問い合わせがあるのか。

答 本市への本社機能移転に関する問い合わせにつきましては、先方の意向もあり企業名は差し控えたいが、IT関連企業やコールセンターを運営する団体など3事業者から打診を頂いており、うち1事業者については、本市への移転について前向きに検討している。



東京から地方へ移転した主な企業
(出典：Yahoo!ニュースオリジナル)

写真で見る志翔会

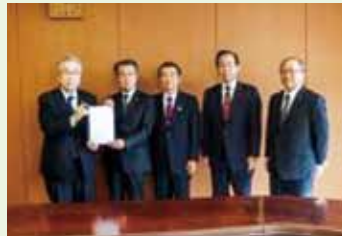
郡山市総合防災訓練

令和4年10月22日、宝来屋郡山総合体育館において、延期されていた令和4年郡山市総合防災訓練を実施し、所属議員が参加しました。



郡山市産米の消費拡大に向けた 提言書を品川市長に提出

令和4年11月30日、12月定例会初日、郡山市産米の消費拡大に向けた特別委員会（委員長：七海喜久雄、委員：森合秀行、令和4年11月30日廃止）においてまとめた郡山市産米の消費拡大に向けた提言書を品川市長に提出しました。



郡山市ハタチのつどい

令和5年1月8日、ビックパレットふくしまにおいて、20歳の青年を祝い励ます「郡山市ハタチのつどい」を開催し、所属議員も来賓として参加しました。



編集 後記

表紙写真の通り、令和4年12月定例会初日に議会提案条例である「郡山市産米の消費拡大の推進に関する条例」が制定されました。毎月8日は、こおりやま「お米の日」を多くの市民の方に知っていただけるように、議員自らが率先して毎月8日は郡山市産のお米を炊いたご飯をモリモリ食べるようにしたいと思います。市民の皆さまにおかれましても本年も健康で元気にお過ごしいただけることを祈念し筆をおきたいと思ひます。
(森合 秀行)